

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 21 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	成人式費					
担当課係名	生涯学習課	生涯学習係	作成者	伊藤清美		
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画のページ
	基本計画					
	主要施策					
予算費目	一般会計	10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務		
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規/継続の区分			継続	
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理					
根拠法令等						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民の新成人
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市内の新成人に参加を促し、成人としての権利・義務を自覚してもらう。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	式典(国歌斉唱、市長式辞、成人証書授与、議長祝辞、県議祝辞、来賓紹介、新成人誓いの言葉、市民歌斉唱等)及び記念写真。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	
効果	活動指標	成人式準備日数	目標	日	60	60	60
			実績	日	60	60	60
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
	成果指標	成人式出席者数	目標	人	359	363	306
			実績	人	277	301	245
			達成度	%	77.2%	82.9%	80.1%
投下コスト	項 目		総事業費	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	21年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)			180	162	165	
	人 件 費 (B)			3,228	3,170	3,223	
	職 員 数			0.40	0.40	0.40	
	職 員 平 均 人 件 費			8,071	7,925	8,057	
	(A) + (B) 投下コスト			3,408	3,332	3,388	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	0	0
		県 支 出 金			0	0	0
		地 方 債			0	0	0
		そ の 他			0	0	0
		一 般 財 源			3,408	3,332	3,388
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			56,800	55,533	56,467	
	市民1人当たりのコスト(円)			108	107	111	

【事務事業の今までの成果】

参加率も高く、有意義な式典が実施されている。
 また、実行委員会形式の声もあったが、地元にいる方が少なく実施に向けてうまくないとの事で、市主催の式典のみとしていたが、何か、携わってもらいたく、司会を21年度から新成人にお願いし、好評を得ている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県内各自治体の8割以上8月15日に開催している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	毎年開催してほしい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	各市町村成人式を開催しており、成人になったという自覚を促し、大人として社会貢献する意識を育てるためには必要な事業である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	対象者の参加率は非常に高く、大人としての自覚を促す観点からも必要な事業であり、今後も式典内容等の充実を図りながら継続すべきと考えます。

